



ムカデにさされたら、どう手当てすればいいの

ムカデは、口に毒のかぎをもっている

足がたくさんあるムカデは、仲間分けでは、こん虫の仲間には入りません。ムカデの体は、頭とどうの二つの部分に分かれ、頭には一組の触角があります。口の左右には、獲物をとらえるとき使う、毒かぎがあります。かまれると、この毒かぎから、毒を注射されます。そのため、ムカデにかまれると、すごい痛みを感じる人が多いようです。人によって、さされたときの痛さの感じ方は、かなりちがいます。

手当ては、ハチにさされたときと同じでよい

ムカデにさされたら、ハチやアリにさされたのと同じような手当てをするとよいでしょう。まず、大急ぎで、さされた所に口を当てて、毒を吸い出すようにします。そのときは、口の中のつばを外にはき出します。あるいは、水道などの流れる水で、さされた所をよく洗い流します。それから、薬屋さんでふつうに売っている、虫さされの薬を買ってきてぬっておけば、たいいてい、それでだいじょうぶです。

ただし、初めてさされたときは、それほどではなくても、さされる回数が増えるにしたがって、アレルギーがひどくなっていきますので、2回以上さされたときは、危険です。

痛みがなかなか取れなかったり、心配な場合は、お医者さんに、見ていただきましょう。

(監修・中山 周平)

